十六羅漢　十六幅

【所　在　地】志布志市志布志町志布志２－１－19　大慈寺
【種　　別】県指定有形文化財（絵画）
【指定年月日】昭和 28 年９月７日

（第１幅）賓度羅跋羅惰闍

（第７幅）迦諾迦

紙本，着色。縦 135cm，幅 44.4cm。筆者は徳庵という中国の画家とされるが，伝記はよくわからない。画軸の巻止めに「十六羅漢 昭堂用 嘉永甲寅七年 柏州表装之」とあり，大慈寺 64 世住持で勤皇僧として著名な柏州和尚が嘉永７（1854）年に表装させたものであることがわかる。

十六羅漢は，仏法護持のために思想的に編み出された 16 人の尊者で，釈迦如来の眷属の形で描かれることが多い。16 人の名前は・賓度羅跋羅惰闍，・迦諾迦伐蹉，・迦諾迦跋釐惰闍，・蘇頻陀，・諾矩羅，・跋陀羅，・迦哩迦，・伐闍羅弗多羅，・戌博迦，・半託迦，・囉怙羅，・那伽犀那，・因揭陀，・伐那婆斯，・阿氏多，・注荼半託迦である。禅宗では修行の一つとしてこれを尊崇することが多い。